



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,495	8.8	1,065	37.7	1,174	26.0	1,617	184.4
2023年3月期第1四半期	13,321	8.6	773	△17.3	931	△12.5	568	△10.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,291百万円 (38.8%) 2023年3月期第1四半期 1,651百万円 (33.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	64.67	-
2023年3月期第1四半期	22.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	64,228	41,088	60.1
2023年3月期	60,160	39,044	60.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 38,574百万円 2023年3月期 36,645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	9.00	-	9.00	18.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	11.00	-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細については、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,600	19.0	3,500	△4.2	3,800	△0.2	3,300	33.1	131.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細については、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3社（PARKER AMERICAS INC.（アメリカ）・PARKER AMERICAS de MEXICO S. de R. L. de C. V.（メキシコ）・天津コンフォート自動車部品製造有限公司（中国））、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	26,801,452株	2023年3月期	26,801,452株
2024年3月期1Q	1,791,665株	2023年3月期	1,791,665株
2024年3月期1Q	25,009,787株	2023年3月期1Q	25,086,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速を背景に輸出が大きく落ち込みましたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行されたことにより、経済の正常化に伴い個人消費や設備投資など国内需要が幅広い分野で増加し、景気は緩やかな回復の動きで推移しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引き締めを背景とした世界経済の減速懸念、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、米中対立を起点とする地政学リスクの懸念等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主力の取引先である自動車業界は日本国内では半導体の供給制限の状況の緩和により、自動車の生産台数は増加しておりますが、主力市場である中国では経済の減速に伴う自動車販売の不振により業績が悪化しております。

このような状況のもと当社グループは、社会情勢の変化や需要を的確に捉え、将来を見据えた幅広い視野を持ち、高い付加価値が込められた製品を提案すること、そのような付加価値を創出する「コト作り」に注力した製品開発に繋げ、更に高いレベルでの技術サービスの提供とグローバル化を推進し、M&Aによる事業領域の拡大など、持続的な成長と顧客の信頼を獲得するよう努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,495百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は1,065百万円（同37.7%増）、経常利益は1,174百万円（同26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は事業買収した会社の取得に伴う負ののれん発生益834百万円の影響により、1,617百万円（同184.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

国内の製粉機械輸入販売は円安の影響を受けているものの、順調に推移しました。自動車業界向け設備の製造販売は、前期からの受注残の検収が完了し、増収増益となりました。

当部門の売上高は、745百万円（同32.9%増）、営業利益は51百万円（前期は20百万円の営業損失）となりました。

・化成品部門

自動車業界向けの製造販売は、国内におきましては半導体の供給制限の緩和により自動車生産台数は回復しつつありますが、主力市場である中国では経済の減速に伴う自動車販売の不振により業績が悪化しております。

当部門の売上高は5,149百万円（同5.1%増）、営業利益は225百万円（同1.5%増）となりました。

・化学品部門

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は、国内の経済の正常化に伴い、鉄鋼関連の売上は増収となり、経費の削減効果等により増益となりました。

当部門の売上高は1,514百万円（同2.6%増）、営業利益は52百万円（同24.7%増）となりました。

・産業用素材部門

自動車用防音材の製造販売は、国内におきまして半導体の供給制限の緩和により自動車生産台数が増加したことにより増収増益となりました。家電用防音材の製造販売は、国内では部品供給の影響により減産となり低調に推移しました。欧州では引き続き増産傾向で推移しておりますが、原材料高騰や人手不足による人件費の高騰等により収益は低調に推移しました。

当部門の売上高は4,538百万円（同19.9%増）、営業利益は492百万円（同49.9%増）となりました。

・化工品部門

国内カーケアケミカルの製造販売は、社会経済活動の正常化に伴う個人消費の回復により増収となりましたが、国内外のファインケミカル製造販売は、電子デバイスの需要低迷による部材の在庫調整等により減収となりました。

なお、原材料価格や物流費の高騰等により収益は低調な推移となりました。

当部門の売上高は1,612百万円（同4.1%増）、営業利益は175百万円（同16.7%増）となりました。

・その他部門

その他部門は主に化学原料の輸出入が減少しましたが、粗利率の改善等により増益となりました。
当部門の売上高は935百万円（同11.1%減）、営業利益は68百万円（同33.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ4,068百万円増加し、64,228百万円となりました。主な要因は、主に現金及び預金の減少（1,216百万円）がありましたが、受取手形及び売掛金の増加（1,999百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（627百万円）、流動資産のその他の増加（1,034百万円）、有形固定資産の増加（1,020百万円）によるものです。

負債合計は、新規連結企業の影響もあり前連結会計年度末と比べ2,023百万円増加し、23,140百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（377百万円）、流動負債のその他の増加（1,238百万円）によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ2,044百万円増加し、41,088百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（1,392百万円）、為替換算調整勘定の増加（288百万円）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、新規子会社が当社事業に及ぼす影響について、見極めている段階であり、業績予想を合理的に算定することは非常に困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,002	16,785
受取手形及び売掛金	13,491	15,491
有価証券	14	14
商品及び製品	4,343	4,553
仕掛品	462	570
原材料及び貯蔵品	2,322	2,950
その他	986	2,020
貸倒引当金	△9	△75
流動資産合計	39,613	42,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,054	11,125
減価償却累計額	△6,316	△7,403
建物及び構築物(純額)	3,738	3,721
機械装置及び運搬具	9,058	10,691
減価償却累計額	△7,177	△8,856
機械装置及び運搬具(純額)	1,881	1,834
土地	6,473	7,083
リース資産	1,077	1,588
減価償却累計額	△532	△613
リース資産(純額)	544	975
建設仮勘定	108	164
その他	4,407	4,815
減価償却累計額	△3,486	△3,907
その他(純額)	921	908
有形固定資産合計	13,667	14,687
無形固定資産		
のれん	311	285
借地権	128	176
その他	225	205
無形固定資産合計	665	667
投資その他の資産		
投資有価証券	4,409	4,721
長期貸付金	242	242
繰延税金資産	109	110
その他	1,537	1,573
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	6,213	6,562
固定資産合計	20,547	21,918
資産合計	60,160	64,228

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,569	8,947
短期借入金	2,601	2,411
1年内返済予定の長期借入金	304	229
リース債務	252	235
未払法人税等	768	617
賞与引当金	754	832
その他	2,082	3,320
流動負債合計	15,332	16,595
固定負債		
長期借入金	2,027	2,093
リース債務	347	807
繰延税金負債	1,272	1,439
役員退職慰労引当金	134	137
退職給付に係る負債	1,897	1,936
資産除去債務	24	31
その他	80	99
固定負債合計	5,784	6,544
負債合計	21,116	23,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	28,419	29,812
自己株式	△650	△650
株主資本合計	32,487	33,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,949	2,155
繰延ヘッジ損益	△42	0
為替換算調整勘定	2,251	2,539
その他の包括利益累計額合計	4,158	4,695
非支配株主持分	2,398	2,513
純資産合計	39,044	41,088
負債純資産合計	60,160	64,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,321	14,495
売上原価	10,190	10,991
売上総利益	3,130	3,503
販売費及び一般管理費	2,357	2,438
営業利益	773	1,065
営業外収益		
受取利息	12	29
受取配当金	69	53
持分法による投資利益	31	—
為替差益	51	104
その他	18	33
営業外収益合計	184	220
営業外費用		
支払利息	18	51
持分法による投資損失	—	4
税額控除外源泉税	—	33
その他	6	21
営業外費用合計	25	111
経常利益	931	1,174
特別利益		
固定資産売却益	2	2
負ののれん発生益	—	834
特別利益合計	2	837
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	934	2,011
法人税等	309	310
四半期純利益	625	1,701
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	568	1,617

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	625	1,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	167
繰延ヘッジ損益	△6	42
為替換算調整勘定	1,093	318
持分法適用会社に対する持分相当額	23	60
その他の包括利益合計	1,026	590
四半期包括利益	1,651	2,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,484	2,154
非支配株主に係る四半期包括利益	166	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	457	2,047	1,113	1,961	1,255	6,835	528	7,363	—	7,363
海外	103	2,849	362	1,825	292	5,434	523	5,958	—	5,958
顧客との契約から生じる収益	560	4,897	1,476	3,786	1,548	12,269	1,052	13,321	—	13,321
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	560	4,897	1,476	3,786	1,548	12,269	1,052	13,321	—	13,321
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	45	19	1	0	74	276	351	△351	—
計	567	4,943	1,495	3,788	1,548	12,344	1,328	13,673	△351	13,321
セグメント利益又は損失 (△)	△20	221	42	328	150	721	51	773	—	773

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	695	2,984	1,191	2,515	1,420	8,808	538	9,347	—	9,347
海外	49	2,164	322	2,022	191	4,751	396	5,147	—	5,147
顧客との契約から生じる収益	745	5,149	1,514	4,538	1,612	13,559	935	14,495	—	14,495
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	745	5,149	1,514	4,538	1,612	13,559	935	14,495	—	14,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	28	20	3	0	72	275	347	△347	—
計	764	5,177	1,534	4,542	1,612	13,632	1,210	14,842	△347	14,495
セグメント利益又は損失 (△)	51	225	52	492	175	996	68	1,065	—	1,065

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「化成品部門」セグメントにおいてPARKER AMERICAS INC. (アメリカ)・PARKER AMERICAS de MEXICO S. de R. L. de C. V. (メキシコ)・天津コンフォート自動車部品製造有限公司(中国)の株式と持分を保有するPNホールディングス合同会社を連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては834百万円であります。